

学校教育目標	夢に向かって、学び合い、心豊かに、たくましく生きる 丹生っ子の育成
育成を目指す資質・能力	基礎学力の定着と表現力・実践力の育成

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 【5年生大分県学習状況調査より R4.4月実施】 国語71.9(70.8) 算数72.0(68.5) 理科69.1(67.0) ※平均正答率(県) 【6年生全国学力・学習状況調査より R4.4月実施】 国語76.0(66.0) 算数72.0(64.0) 理科70.0(63.3) ※平均正答率(全国) 5・6年生ともに、全ての教科が県・全国平均以上となっている。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・漢字の読みは概ねできているが、書くことについては既習の漢字が定着していないものがある。 ・自由に自分の考えを書くことは概ねできるが、内容の中心/立場を明確にし自分の考えを書くことが苦手である。 ・基礎的な計算は概ねできているが、5・6年「概数」、5年「平行」「二次元表」、6年「割合」「比例」が理解できていない。 ・示された考えをもとに、求め方を説明することが苦手である。 ・実験器具や使い方、実験の結果をまとめる力が身に付いていない。 ・小集団では考えを伝えることができるが、クラス全体になると発言する児童が限られる。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ・「自分の考えをノートやワークシートに書いていますか」肯定的評価94% ・算数科において既習事項を教室に掲示し、全体の場で見直しをもたせてから自力解決させるという、昨年度から行っている校内研修の成果が表れている。 ・6月に板書・ノート交流会を行い、授業の流れや子どもの思考の流れが分かる板書・ノート作りの共通理解を図った。 ・「自分の考えや意見を友だちに伝えることができますか」肯定的評価88% ・ペア学習の目的に沿って、互いに考えを伝え合うことはできていますが、全体での考えの練り上げが不十分である。	
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ・算数科における丹生小のスタイル(めあて・課題・見通し・解決(対話的場面の設定)・まとめ・振り返り)、対話的場面を取り入れた授業の実施 ・既習事項を教室に掲示し、子どもが考えを持ちやすくする環境作り ・話し方・聞き方系統表に沿った指導 ・授業の流れや子どもの思考の流れが分かる板書・ノートを意識した授業づくり(6月に交流) ・校内の授業を見る視点を設定⇒校内研・授業実施⇒振り返り・改善を繰り返し、授業改善につなげている	
	2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・全学年、毎日の音読、週末読書の取組 ・低・中学年は家庭学習の答え合わせ・やり直しまできちんとし、高学年は週3回以上自主学習の取組 ・ICTを活用した授業、家庭学習の取組を月1回以上 ・週2回のチャレンジタイム(国語:週末読解プリントの答え合わせ・解説、算数:基礎・基本・活用問題)を設定し、基礎・基本の定着を図り、読解力・活用力を培う	

学力に関する達成指標

- 単元末テストで80点以上を75%以上、60点未満を5%未満
- 各種学力調査で全国平均以上

	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
今後の具体的な取組	〈授業改善のテーマ・重点〉 (授業改善テーマ) 表現力・実践力が身に付く授業づくり (授業改善の重点) 既習事項を活用し根拠を明らかにして自分の考えもたせ、対話的場면을意図的に位置付けた授業の推進	
	〈取組内容〉 ・既習事項を掲示し、これまでの学習を振り返り活用しながら、自分の考えをもたせる ・対話の目的を明確にし、授業の中に位置付ける ・話し合いの視点の焦点化、追発問を仕組みた授業展開	〈家庭・地域の取組内容〉 ・家庭学習の手引きを基に、学年初め懇談会・学年通信等で家庭学習の意義や方法を確認し、現状を知らせながら、継続して取り組ませる。
	〈取組指標〉 ・毎単元での既習事項の教室掲示 ・全ての教員が算数科を中心に、週1回以上対話的場面を取り入れ、話し合いを焦点化したり、追発問を仕組み子どもの考えを深める授業の実践(授業研2回、ミニ授業公開2学期までに1回以上) ・学期に1回の板書・ノート交流会(全てのクラス)	〈家庭・地域の取組指標〉 ・「生活見直し週間」を学期に1回実施 ・学校だより・学年通信を必ず読む
	〈検証指標〉 ・「自分の考えをノートやワークシートに書いていますか」肯定的回答90%以上(児童) ・「自分の考えや意見を友だちに伝えることができますか」肯定的回答90%以上(児童) ・「授業で1日1回以上、自分の考えを書かせて、伝え合う場を設定している」肯定的回答100%(教員) ・「子どもが自分の考えをノート等に書くことができるよう指導している」肯定的回答90%以上(教員)	〈家庭・地域の検証指標〉 ・保護者アンケート「子どもは、自分から進んで宿題に取り組んでいますか」の肯定的回答70%以上
	【授業改善以外の学力向上の取組】 ・全学年、週2回のチャレンジタイム実施(国語:週末読解プリントの答え合わせ・解説、算数:基礎・基本3回、活用1回(学テ活用問題等)) ・家庭学習、自主学習、週末読書について指導	